

Saori Ikeuchi TIMES / no.029 / 2021.6.13 sun.

# TOKYO 12 HAUS

池内さおり通信  
 日本共産党  
 衆院東京12区  
 池内さおり事務所  
 〒115-0042  
 東京都北区志茂  
 2-53-7

電話：03-5939-6581 ファックス：03-5939-6582 メール：tokyo12haus@saori-ikeuchi.com

## 市民と野党の共闘で そね都議を必ず都議会へ！日本共産党演説会

北区北とぴあで5月22日、日本共産党オンライン演説会が開かれました。100カ所の視聴会場を含め500人以上が参加。迫る都議選で再選をめざすそねはじめ都議が政策を訴え、立憲民主党・斉藤りえ前北区議、新社会党・福田光一北区議、赤羽の居酒屋店主も応援にかけつけました。池内さおりさんは、笠井亮衆議院議員とともに、そね都議を必ず都議会へ！と訴えました。

池内さんは冒頭、手話で斉藤前区議に感謝を表明。ワクチン接種のロードマップを示さず、大規模検査も行わない菅政権を厳しく批判し、政治を変えるチャンスが都議選だと訴えました。さらにそね都議の「宝の議席」を守るために全力を尽くすとともに、つづく総選挙で必ず議席を勝ち取る決意を表明しました。



(左から) 笠井衆議院議員、池内さん、斉藤元区議、そね都議、居酒屋店主の石田勝博さん、福田区議

### 色あざやかな社会へ

Column vol.29

大坂なおみさんを心から応援する

選手だからと、どんな質問にも耐えて受け続ける必要などないだろう。日本ではあまり知られていないが、大坂なおみさんは、まだまだ白人主義の観念が根強いテニス界で、黒人であり女性あるからこそ投げつけられる悪意ある質問に幾度となく苦悩してきた。

大坂さんに対して「プロなのだから記者会見をするべき」「わがまま」などと、彼女を執拗に責め立てる日本メディアの報道姿勢には辟易した。その後、大坂選手が自身のメンタルヘルスに言及して以降、文字通り手のひらを返したように、日本メディアは彼女を擁護する報道に転向した。見事なまでの大転向。無反省で無思考で、身代わりの早さには脱帽だ。

選手に「プロ」としての言動を求めらるなら、報道する側、質問する側にも「プロ」としての態度が必要ではないか？

大坂なおみさんを一人にさせない。新時代を拓くため、私も努力し続ける。



池内さおり  
Saori Ikeuchi  
前衆議院議員

毎月12日は

## TOKYO 12 HAUS の日

池内さおりがお待ちしている「TOKYO 12 HAUS」の日。  
 実施再開のめどが立ち次第お知らせいたします。

## 池内さおり トークタイム

新型コロナウイルスの状況を踏まえ、  
 当面の実施を見合わせます。



## 五輪中止、コロナ対策に全力を！ 都政転換の訴え 各地で

池内さんは5月、きたる都議会議員選挙で都政を変えよう、つづく総選挙では政権交代を！と、都議らとともに連日各地で訴え。「我慢を強



(左から) 山中ちえ子足立区議、齊藤都議、池内さん、沢田しんご衆院東京13区予定候補

いるコロナ対策でなく、検査と補償こそ。オリンピックは中止しコロナ対策に全力を」との池内さんの訴えに、熱い反応がよせられました。

齊藤まりこ都議らとともに立った足立区北千住駅では、「オリンピック中止だって。そうだよね」と若い二人連れが共感の声。宣伝中に駆け寄ってくれた女性や、終了後にエールをくれる男性の姿も。

北区赤羽の商店街では、パンフを受け取りに駆け寄った女性から「私もオリンピックは反対。



北区赤羽・ララガーデンで訴える(左から)そね都議、伊藤岳参院議員、池内さん

絶対に選挙頑張るって」と応援の声がかかるなど、どこでも反響の大きい宣伝となりました。

## ジェンダー平等と政権交代の展望語る 新聞・放送後援会のつどい

池内さんは5月29日、新聞放送労働者後援会が開いた「日本共産党の躍進をめざすつどい」で講演。ジェンダー平等について、また総選挙に臨む決意を語りました。

参加者からは、「池内さんの話は大変重く、心に響いた。自分では男女差別はしていないつもりだったが、反省点があった。身の回りで見聞きすることもあるかと思うが、少しずつでも声をあげていきたい」「池内さんの貫く信念がよくわかりました。年齢、性別、慣習にしばられない対等な人間関係をつくるため、世論を高めていきましょう。次の選挙ではぜひとも当選してほしい」など多くの感想がよせられました。

## 痴漢ゼロ東京へ！池袋でトーク

池内さんは5月22日、党都ジェンダー平等委員会が開催したトークセッションで、米倉春奈都議、坂井和歌子比例東京予定候補とともに「痴漢ゼロ、暴力も差別もないジェンダー平等の東京をつくろう！」と語り合いました。

3人は同委員会実施の痴漢被害アンケートによせられた実態を紹介。また米倉都議は、その実態を取り上げた都議会での議論を報告しました。



トークする(左から)米倉都議、池内さん、坂井さん

議会の様子などを映した大型ビジョンにも多くの人々が注目。立ち止まって話を聞く人の姿もありました。

## 双方向のやり取りが魅力 ネットラジオ配信中！

朝岡晶子さんとおくる「池内さおりラジオ コミュニストはフェミニスト」。

5月8日の配信は「お便り感謝！リスナーの皆さんとコミュフェミ対話」と題し、よせられたお便りを紹介しながら語り合いました。この回にも「リスナーさん一人ひとりが悩みながら闘っておられる様子が伝わってきて、熱い連帯の気持ちが湧きました」など多くの感想が届いています。リスナーの声で番組がふくらみ深まっていく、双方向の魅力にあふれたラジオです。

22日のテーマは「『生活』に、政治を近づけるために」。ゲストの次期参議院選挙(神奈川選挙区)予定候補・あさか由香さんの、「生活」と仕事、そして「生活」と政治をめぐる葛藤、今回立候補を決意した深い思いを聞き、語り合いました。配信後、「なんという開拓者たちの響き合い」「本当に本当に励まされました」などの感想がよせられています。

過去の配信は、いつでも再生可能。6月5日(ゲスト:齊藤まりこ、藤田りょうこ両都議)、次回6月19日の配信とあわせてぜひお聴きください。



収録中の(左から)朝岡さん、あさかさん、池内さん



▲こちらのページからお聴きいただけます